



KAWAI 2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所 上場取引所 東
コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 執行役員 （氏名）河合 健太郎
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 コーポレート戦略本部 経営戦略部長 （氏名）飯塚 章浩 TEL 053-457-1227
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	17,098	△3.9	△256	—	△141	—	△116	—
2026年3月期第1四半期	17,792	1.1	△500	—	△268	—	△169	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 75百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △1,282百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△13.59	—
2026年3月期第1四半期	△19.73	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	79,581	46,000	57.8
2026年3月期	78,879	46,745	59.3

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 46,000百万円 2026年3月期 46,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	95.00	95.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	80,000	11.0	1,800	—	1,900	99.4	1,600	40.1	186.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	9,011,560株	2026年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	409,141株	2026年3月期	409,141株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	8,602,419株	2026年3月期1Q	8,599,419株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策や中東情勢を巡る不透明感が続くなか、地域ごとに濃淡はあるものの総じて底堅く推移しました。米国では設備投資を中心に堅調さを維持した一方、中国では不動産市場の低迷などを背景に、また欧州では物価高の影響などにより、景気に弱さがみられました。日本では個人消費や設備投資が底堅く推移し、緩やかな回復基調が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、第8次中期経営計画「KAWAI 十年の計」（2026年3月期から2035年3月期）で掲げる「鍵盤楽器成長戦略」のもと、高付加価値化とシェア拡大を目的とした取り組みを進めております。その一環として、リアルとデジタルの両面でのコミュニケーション戦略、EC市場を含めたディーラー開拓や直営店展開による販売チャネル戦略、および新製品投入を軸とした製品戦略を推進しております。

コミュニケーション戦略としては、製品別デジタルマーケティングの強化に加え、国内外におけるブランド認知向上施策を推進いたしました。特に、ディーラー向けのデジタルマーケティング支援などを通じて、海外でのブランド価値の向上と販売促進に取り組みました。

販売チャネル戦略としては、前期より実施してきた海外市場での直営店展開に続き、国内において準旗艦店「カワイ群馬」、「カワイ川口」、「カワイ金沢」をリニューアルオープンいたしました。これらの店舗はいずれもコンサートホールを併設しており、コンサートや発表会、音楽イベントなどを通じて、地域における音楽文化の発信拠点としてブランド価値の向上と顧客接点の拡大を図ってまいります。

製品戦略としては、海外市場向けアップライトピアノのフラッグシップモデルとして、新たな「マスターシリーズ」3機種を本年より発売いたしました。海外市場における高品質・高性能な製品需要への対応を図るとともに、ブランド価値の向上と収益性の改善を目的としており、「鍵盤楽器成長戦略」の中核である高付加価値化を推進してまいります。

こうした取り組みの中で、北米では鍵盤楽器販売が堅調に推移したほか、欧州では電子ピアノを中心に販売が伸長しました。一方、中国では電子ピアノ販売に持ち直しの動きがみられたものの、アコースティックピアノ販売の減少が続きました。また、日本では価格競争の激しい普及価格帯モデルを中心に電子ピアノ販売が低調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 17,098百万円（前年同期比 693百万円減）、営業損失は 256百万円（前年同期比 244百万円改善）、経常損失は 141百万円（前年同期比 126百万円改善）、親会社株主に帰属する四半期純損失は 116百万円（前年同期比 52百万円改善）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、物価高の影響が続く日本国内ならびに、双減政策の影響等により市場在庫が過剰となり価格競争が継続する中国市場において販売量の減少が見られたものの、価格の適正化、販路の拡大および認知度向上をはじめとした各マーケティング施策の効果によって北米、欧州、その他の地域で販売が伸長した影響により、売上高は 14,175百万円（前年同期比 716百万円増）となり、営業損失は 354百万円（前年同期比 374百万円改善）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、半導体および自動車関連の受注減少などにより、売上高は 2,205百万円（前年同期比 376百万円減）となり、営業利益は 112百万円（前年同期比 87百万円減益）となりました。

(その他事業)

その他事業は、医療機関向けIT機器販売の受注減少などにより、売上高は 718百万円（前年同期比 1,033百万円減）となり、営業利益は 1百万円（前年同期比 41百万円減益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、棚卸資産の増加などにより 79,581百万円（前期末比 701百万円増）となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の増加などにより 33,581百万円（前期末比 1,447百万円増）となりました。

純資産合計は、利益剰余金の減少などにより 46,000百万円（前期末比 745百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました内容から変更はありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,758	10,025
受取手形及び売掛金	13,037	11,449
商品及び製品	12,526	13,859
仕掛品	2,373	2,539
原材料及び貯蔵品	5,644	5,709
その他	4,108	5,272
貸倒引当金	△124	△145
流動資産合計	48,324	48,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,223	4,211
機械装置及び運搬具（純額）	1,898	2,045
土地	6,395	6,399
その他（純額）	5,051	5,548
有形固定資産合計	17,568	18,204
無形固定資産		
のれん	134	127
その他	489	483
無形固定資産合計	624	610
投資その他の資産		
投資有価証券	9,884	9,210
繰延税金資産	808	1,139
その他	1,826	1,869
貸倒引当金	△155	△161
投資その他の資産合計	12,362	12,057
固定資産合計	30,555	30,872
資産合計	78,879	79,581
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,280	6,289
短期借入金	7,625	8,142
未払法人税等	546	348
賞与引当金	812	322
製品保証引当金	153	155
その他	5,798	6,559
流動負債合計	20,215	21,818
固定負債		
長期借入金	3,684	3,387
環境対策引当金	4	4
株式報酬引当金	39	42
退職給付に係る負債	6,548	6,700
資産除去債務	587	589
その他	1,053	1,037
固定負債合計	11,918	11,762
負債合計	32,134	33,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,294	1,294
利益剰余金	29,877	28,939
自己株式	△967	△967
株主資本合計	37,326	36,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,487	2,222
為替換算調整勘定	6,378	6,844
退職給付に係る調整累計額	553	543
その他の包括利益累計額合計	9,419	9,611
純資産合計	46,745	46,000
負債純資産合計	78,879	79,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	17,792	17,098
売上原価	13,729	12,332
売上総利益	4,063	4,766
販売費及び一般管理費	4,563	5,022
営業損失(△)	△500	△256
営業外収益		
受取利息	38	22
受取配当金	62	74
固定資産賃貸料	20	16
為替差益	208	116
その他	7	19
営業外収益合計	337	249
営業外費用		
支払利息	35	45
寄付金	16	67
訴訟関連費用	21	—
その他	31	21
営業外費用合計	105	134
経常損失(△)	△268	△141
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	180
受取補償金	5	—
特別利益合計	5	180
特別損失		
固定資産除却損	1	8
固定資産売却損	5	—
特別損失合計	7	8
税金等調整前四半期純利益		
又は税金等調整前四半期純損失(△)	△269	30
法人税等	△100	147
四半期純損失(△)	△169	△116
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△169	△116

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△169	△116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	△264
為替換算調整勘定	△1,031	466
退職給付に係る調整額	△11	△9
その他の包括利益合計	△1,112	192
四半期包括利益	△1,282	75
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,282	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	楽器教育	素材加工	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	13,458	2,581	1,752	17,792	—	17,792
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	29	31	62	△62	—
計	13,460	2,611	1,783	17,854	△62	17,792
セグメント利益 又は損失(△)	△728	199	42	△486	△14	△500

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△14百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△13百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	楽器教育	素材加工	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	14,175	2,205	718	17,098	—	17,098
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	29	39	70	△70	—
計	14,176	2,234	758	17,169	△70	17,098
セグメント利益 又は損失(△)	△354	112	1	△240	△16	△256

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△16百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△14百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	466百万円	516百万円
のれんの償却額	—	7